



2026年10月期 第1四半期決算説明資料

株式会社FUNDINNO | 2026年3月

未上場企業のリスクマネーの循環を DXプラットフォームにより実現する イノベーティブなビジネスモデル

当社は、未上場株式市場において、
テックタッチを基盤に、証券・印刷、信託・取引所の機能を統合した
次世代型金融プラットフォームを構築しております。



01

当社支援先が 東証グロース市場へ上場

innovacell (2026年2月24日)
イノバセル株式会社
東京証券取引所 **グロース市場** 上場

調達
実績

10.6 億円
(2024年12月)

調達から
上場までの
期間

約 **1年2** か月

02

2026年10月期 1Qも 業界トップシェア

未上場株式市場において
プラットフォームとしての
ポジションを確立。

 **FUNDINNO**

(26年10月期 1Q)

 **FUNDINNO
PLUS+**

(26年10月期 1Q)



03

創業時からの累計GMVが 300億円を突破

更なる拡大に向けて
今期は下記の施策に注力。



特定投資家数増加 + 大口投資家
(法人・機関投資家) 増加



セカンダリー領域の拡大



規制緩和への対応

「FUNDINNO PLUS+」での資金調達から14か月で上場。
発行会社のIPOによる信用力向上を追い風とした新規リード獲得の加速、特定投資家の再投資に繋げる。

発行会社 イノバセル株式会社



代表取締役 Co-CEO
ノビック・コーリンさま
代表取締役 Co-CEO
シーガー・ジェイソンさま

会社概要（イノバセル株式会社について）

当社は自らのビジネスモデルを「再生医療・細胞治療グローバルアグリゲーションモデル」と称しております。このモデルでは、専門的な知識、経験、人的ネットワークを活かし、有望な再生医療・細胞治療の候補をグローバルに見つけ出します。それらの候補に必要な経営資源及び事業インフラをグローバルに調達・開発し、それぞれの研究開発パイプラインに最適なビジネスモデルを構築してグローバルに商業化していくことで、自社の収益ポートフォリオを構築・拡充するという事業モデルです。現在、便失禁および尿失禁といった失禁領域を対象とした、3つの自家細胞治療パイプラインの開発と商業化に取り組んでいます。

約1か月で
約**10.6**億円の
資金調達を実現

調達スキーム J-Ships



エグゼクティブサマリー | 2026年10月期 第1四半期業績

2026年10月期 第1四半期決算	実績	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">営業収益</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">営業利益</div> </div> <p>前年同期比 減収減益</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>410 百万円</p> <p>(前年同四半期比※ ▲169百万円)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▲181 百万円</p> <p>(前年同四半期比※ ▲208百万円)</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">※ 2025年10月期 第1四半期は監査レビューを受けておらず、当社集計値を掲載</p>
	要因	<ul style="list-style-type: none"> 大型資金調達支援を行う「FUNDINNO PLUS+」は、案件規模や開示タイミング、募集期間などにより四半期単位の業績に一定のボラティリティ（変動）が生じる。 当社は発行会社および投資家のニーズ、プロジェクト収益が最大化できるタイミングを鑑み実行しており、その結果、当第一四半期においては大型案件の計上が後続四半期へシフト。 一方で、上場後の非連続な成長に向けた「仕込み」の取り組みとして、全社リソースを成長戦略に掲げた事業基盤構築へ戦略的に投入。その結果、「投資ポテンシャルの拡大」や「取扱商品の拡充」において、当初想定を上回る進展を実現。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 10億円超の大型資金調達実績 25年10月期 1Q：2件 / 26年10月期 1Q：0件
成長戦略の進捗	トピック	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>投資ポテンシャルの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> イノバセル社：東証グロース市場 上場 当社及び発行会社の上場による信用力向上を追い風とした新規リード獲得の加速 キャピタルゲインを得た特定投資家の当社プラットフォームでの再投資に繋げる 業界連携強化 法人投資家出資促進のための新しいスキームでの実績（見込：当2Q） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>取扱商品の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 「FUNDINNO MARKET PLUS+」の大口取引実現（見込：当2Q） </div>



01 **ビジネスモデル**

02 主要KPI

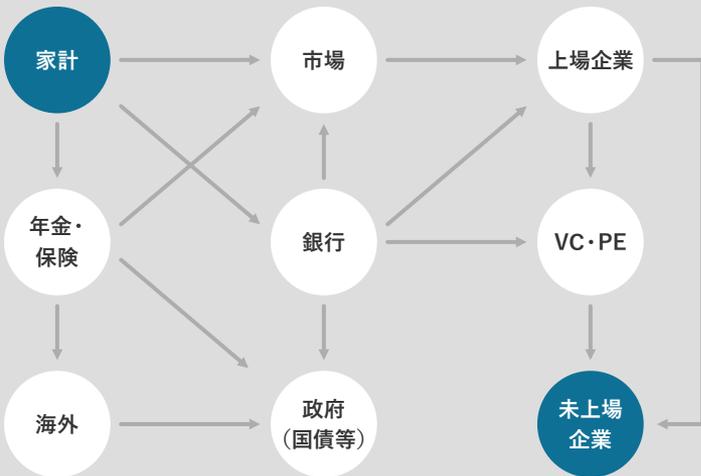
03 2026年10月期 第1四半期業績

04 成長戦略の進捗

05 APPENDIX

家計等の金融資産を未上場企業への成長資金として直接供給できる、新たな金融インフラを構築。

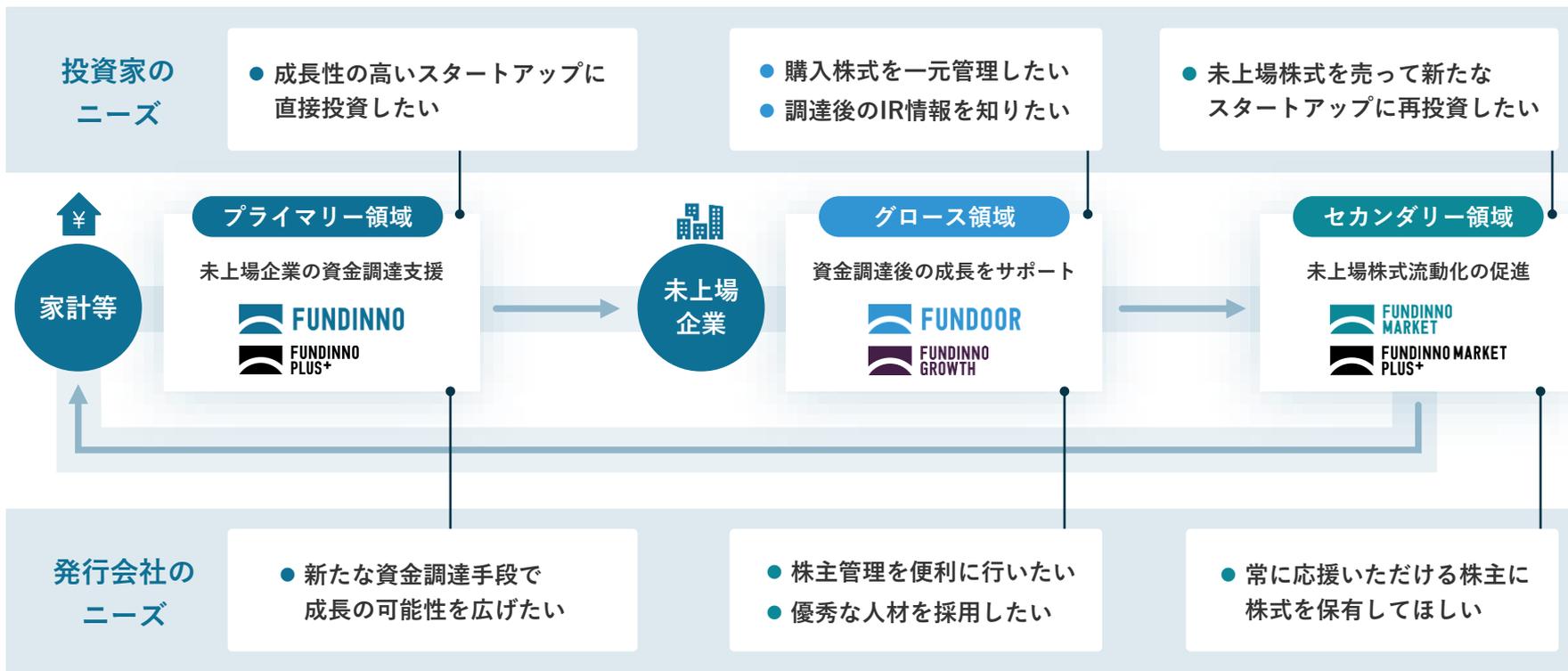
家計から未上場企業に直接資金供給できない



家計から直接資金供給できる金融インフラ



未上場株式を「買って、管理できて、売れる」リスクマネーの循環を実現する3領域を展開。



大口資金調達が可能な「FUNDINNO PLUS+」が業績を牽引。

プライマリー領域

未上場企業の資金調達支援

営業収益
構成比 **88.5%**

小口
Web

FUNDINNO

株式投資型クラウドファンディングサービス

営業収益構成比 **19.1%**

大口
対面

**FUNDINNO
PLUS+**

多額の投資ができる特定投資家と
大口資金調達を行う企業を繋ぐ

営業収益構成比 **69.4%**

資金
調達

事業構成
営業収益比率
(2025年10月期)

成長

売却

グロース領域

資金調達後の成長を支援

営業収益
構成比 **11.5%**

FUNDOOR

株主管理・経営管理サポート

**FUNDINNO
GROWTH**

CxO人材の採用支援

セカンダリー領域

投資家の投資回収機会の創出

営業収益
構成比 **0.04%**

小口
Web

**FUNDINNO
MARKET**

プライマリーで購入した株式をWeb上で売買

大口
対面

**FUNDINNO MARKET
PLUS+**

未上場株式の大口相対取引を支援

ビジネスモデル | 「FUNDINNO」と「FUNDINNO PLUS+」の違い

2015年 オンライン上での未上場株式販売が可能になり、当社は「FUNDINNO」を展開。
2022年 規制緩和で大型資金調達も可能になり、「FUNDINNO PLUS+」を新たに展開。



調達企業	ステージ	アーリー・ミドル企業	レイター企業	
	調達金額	1億円未満	上限なし	
	組織	監査未設置も可	監査設置・証券会社決定	
	最大調達金額	9,999 万円	18.2 億円	
投資家	勧誘方法	クラウドファンディング型でマッチング	対面・オンラインで個別紹介	
	対象	一般投資家	○	×
		特定投資家	○	○
	同一企業への年間投資額	1~50万円(一般投資家) 上限なし(特定投資家)	上限なし(特定投資家)	
	手数料	なし	なし	



01 ビジネスモデル

02 主要KPI

03 2026年10月期 第1四半期業績

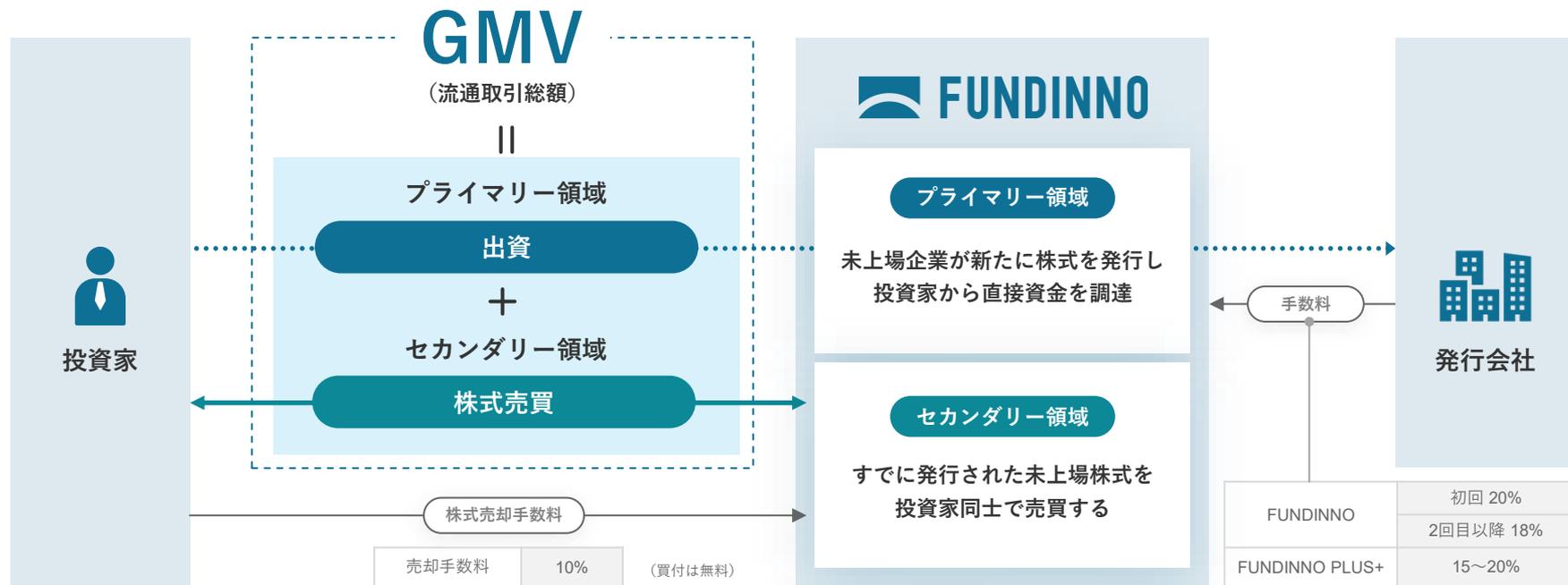
04 成長戦略の進捗

05 APPENDIX

主要KPI | GMV（流通取引総額）とは

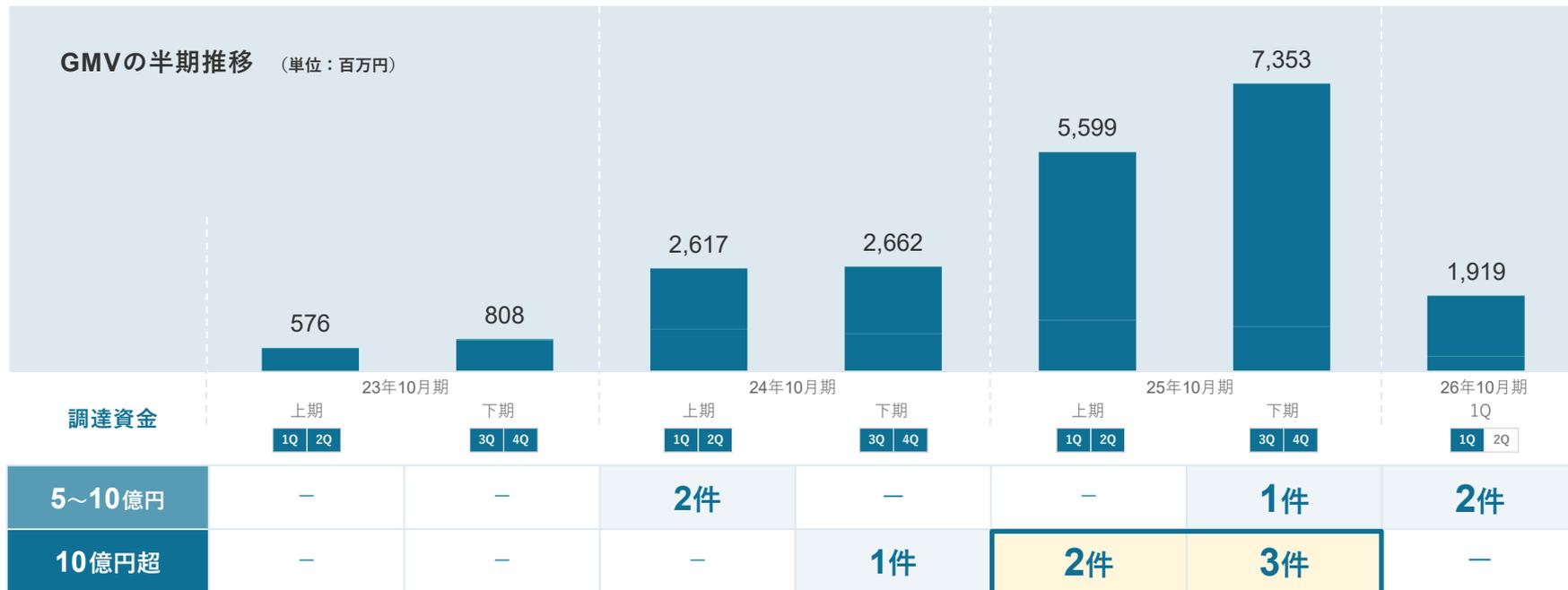
当社プラットフォームを通じた取引の総和（=GMV）の拡大に今期注力。

GMV（流通取引総額） = プライマリー領域（出資額） + セカンダリー領域（株式売買額）



主要KPI | GMVの半期推移

案件の成約時期や規模により、四半期GMVには一定のボラティリティが生じるものの、10億円超の資金調達には、24年10月期の1件に対し、25年10月期は5件と、着実に案件大型化を実現。発行会社の状況、プロジェクト収益が最大化できるタイミングを狙い、計画達成に向け進捗。

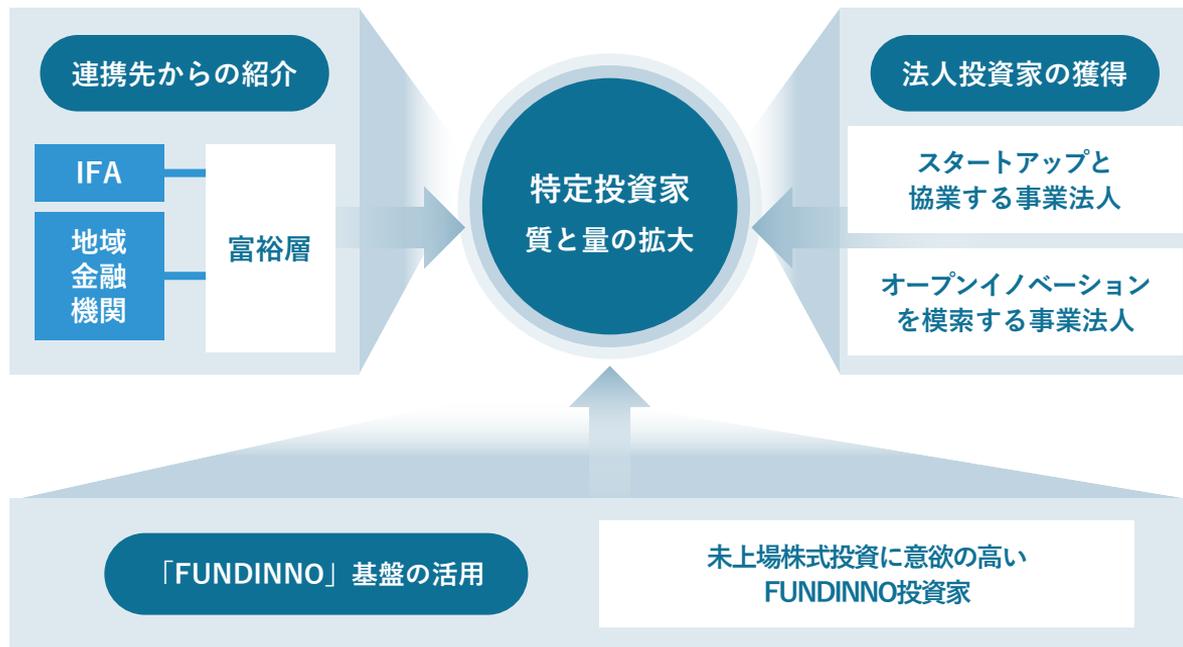


10億円超が5件と着実に案件が大型化

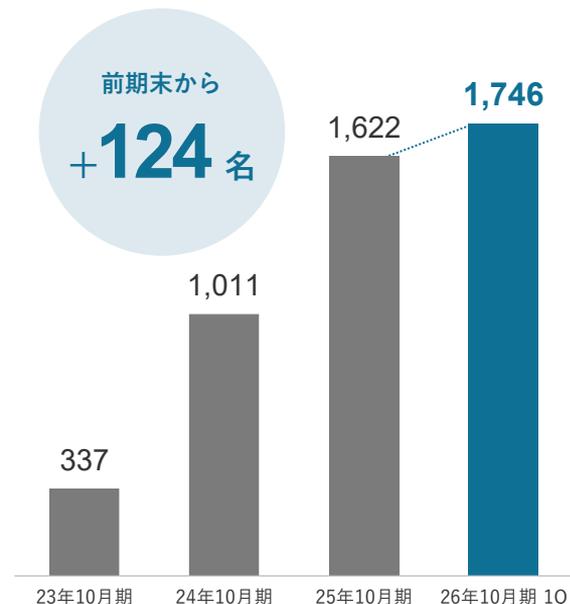
※ 同半期内の追加調達を合算してカウント

主要KPI | 特定投資家数の推移

GMVの拡大を支えるのは「FUNDINNO PLUS+」の特定投資家の増加で、前期末から124名増加。純金融資産保有額5億円以上の超富裕層（11.8万世帯※）をターゲットに更なる積み上げを図るべく、「FUNDINNO」基盤に加え、地方銀行や証券会社、IFAとの連携を強化。



特定投資家数（単位：名）





01 ビジネスモデル

02 主要KPI

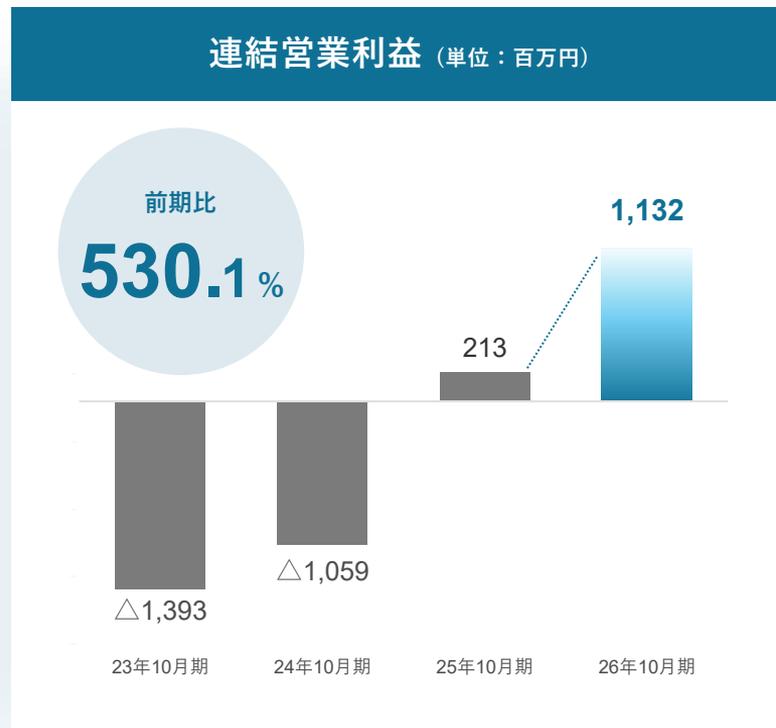
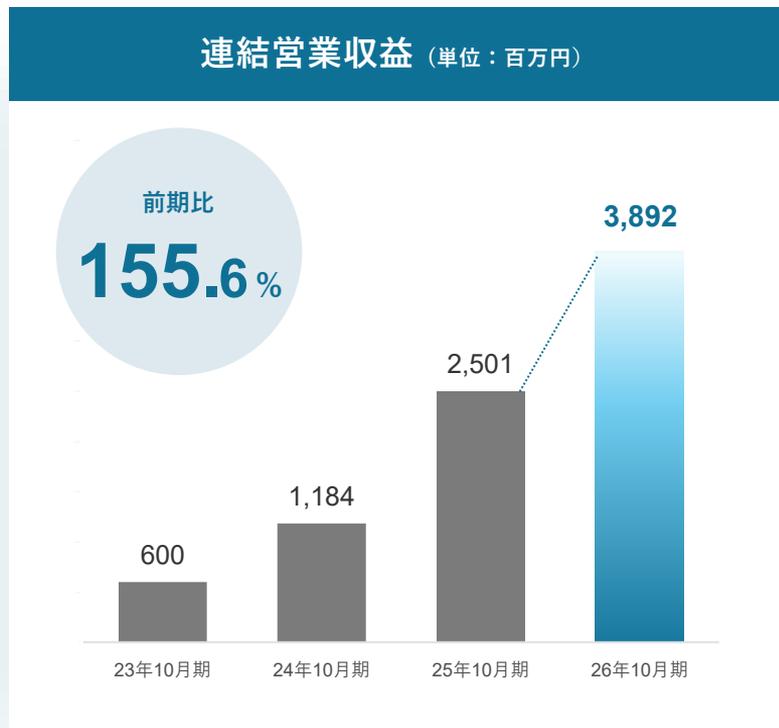
03 **2026年10月期 第1四半期業績**

04 成長戦略の進捗

05 APPENDIX

2026年10月期 業績予想

大型資金調達を行う「FUNDINNO PLUS+」の拡大により、
営業収益 3,892百万円（前期比 55.6%増）、営業利益 1,132百万円（前期比 430.1%増）を計画。

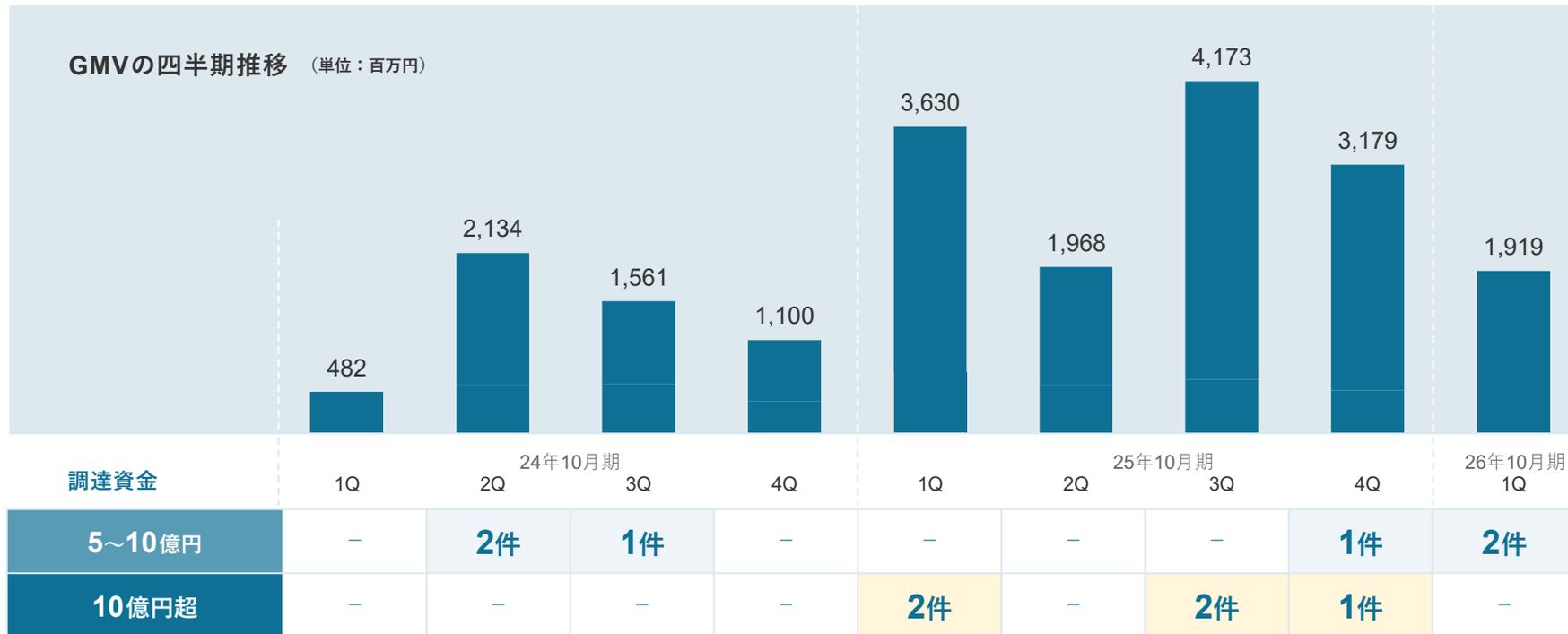


「FUNDNINNO PLUS+」の大型案件（10億円超）が前年同期比マイナス2件で、減収減益。

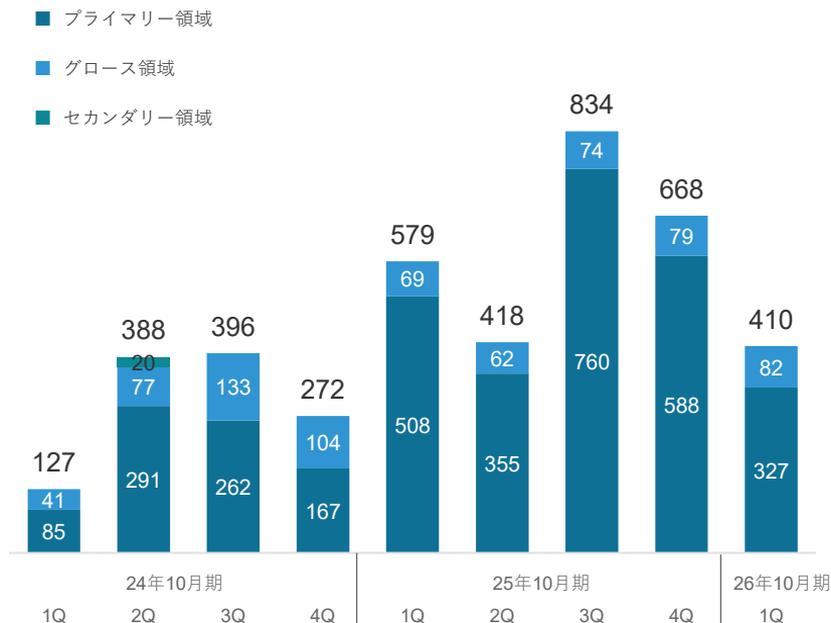
	2025年10月期（1Q）	2026年10月期（1Q）	業績予想
（単位：百万円）			
営業収益	579	410	3,892
金融費用	0	0	0
原価	65	59	254
純営業収益	513	350	3,637
純営業収益率	88.7%	85.5%	93.5%
販管費	486	532	2,504
営業利益	27	△181	1,132
営業利益率	4.7%	-	29.1%
経常利益	28	△189	1,131
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	△197	1,147

※ 2025年10月期第1四半期は監査レビューを受けておらず、当社集計値を掲載

大型案件の計上が後続四半期へシフトし「FUNDINNO PLUS+」の10億円以上の調達に当期1Qは不足。



サービス領域別営業収益推移 (単位：百万円)



プライマリー領域



- 2022年7月に新設された「特定投資家向け銘柄制度」により、FUNDINNO PLUS+が順調な立ち上がり。条件を満たした案件・特定投資家において、1案件あたりの調達額・投資上限が撤廃され、1案件あたりのGMVが大幅拡大。

グロース領域



- プライマリー領域において調達を行った企業のその後をサポート。テイクレートの向上に加え、企業の継続的な成長と、透明性の高い情報開示をサポートすることで、未上場株式市場の健全な発展を目指す。

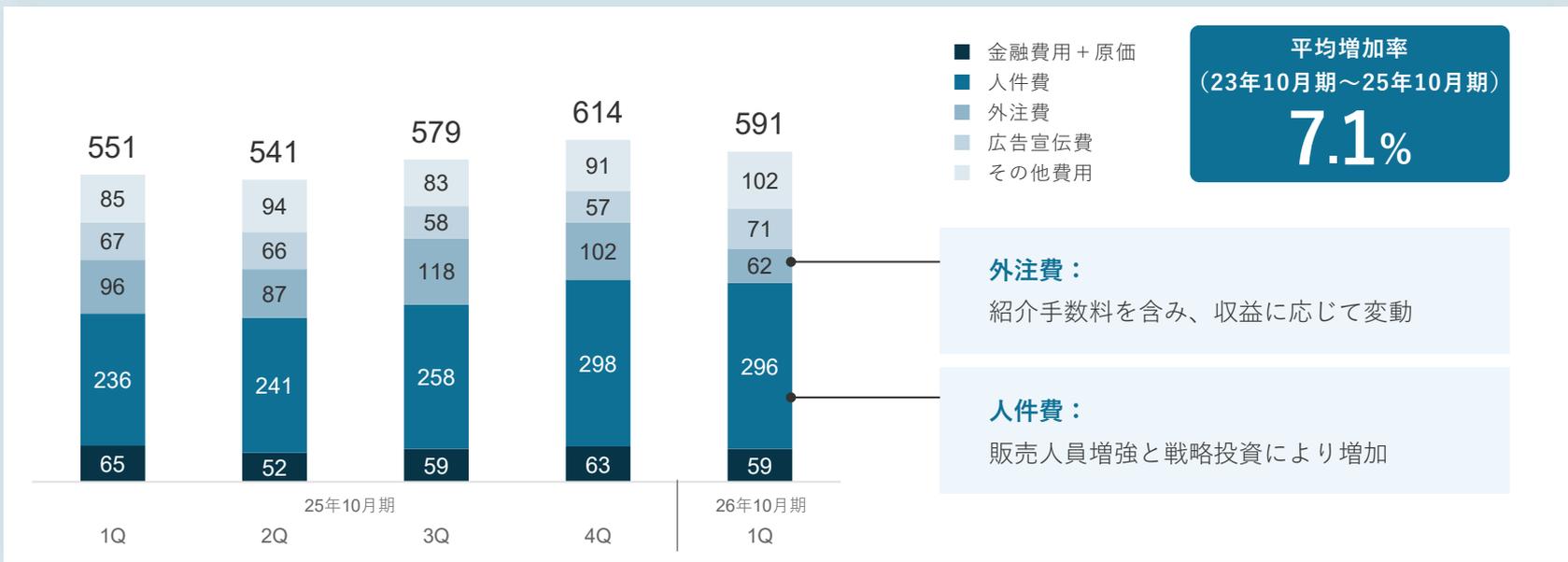
セカンダリー領域



- 投資家の売却機会を増加させることで、未上場株式市場におけるリスクマネーの循環を創出。24年10月期にFUNDINNO MARKET PLUS+の大口相対取引の試験的な運用に成功。
- ルール整備により、今後更なる拡大を目指す。

テクノロジー主導の事業運営により、量的拡大を実現しても営業費用の伸びは限定的。
今後の業績拡大に向けた人材採用も順調に進捗。

費用推移 (単位：百万円)



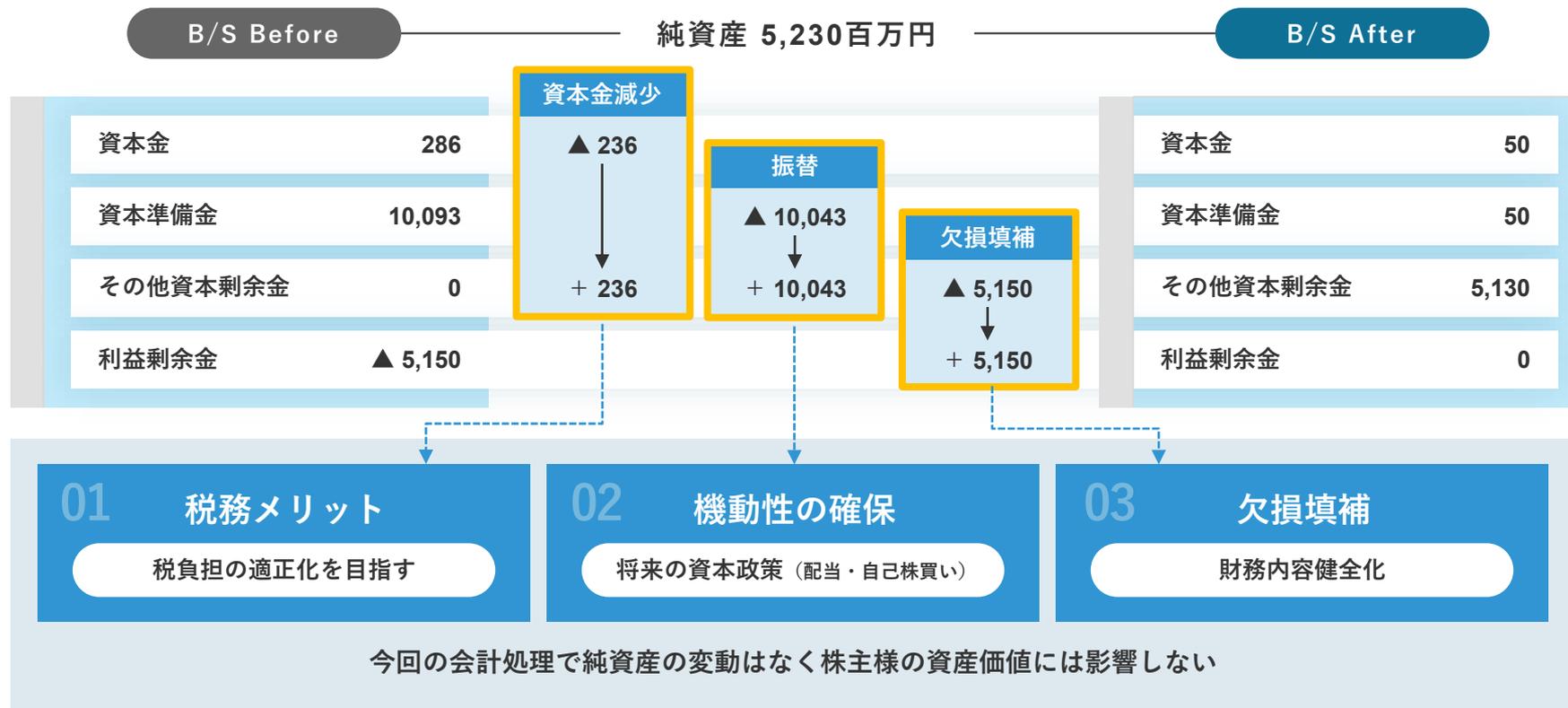
自己資本規制比率を維持し、安定的な財務状況を確保。

2026年3月3日を効力発生日とし、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金処分を行う。

	(百万円)	25年10月期 (通期)	26年10月期 (1Q)	増減額
流動資産		5,055	5,051	△4
固定資産		371	394	+23
資産合計		5,426	5,446	+19
流動負債		584	409	△174
固定負債		0	0	0
負債合計		584	410	△174
純資産		4,842	5,035	+193
負債・純資産合計		5,426	5,446	+19

資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金処分（効力発生日：2026年3月3日）

企業価値向上に向けた財務内容の健全化を図るとともに、将来の資本政策の機動性を確保。





01 ビジネスモデル

02 主要KPI

03 2026年10月期 第1四半期業績

04 成長戦略の進捗

05 APPENDIX

成長戦略の進捗

当社プラットフォームでのGMV拡大に加え、付加価値向上に繋がるサービス拡張を行い
リスクマネー循環サイクルの構築・持続的な発展を目指す。

今期PLに
影響



案件及び投資家の数・質の向上による
投資ポテンシャルの拡大

プライマリー

グロース

セカンダリー

今期PLに
影響



ライセンス取得・ファンド組成による
取扱商品の増加

プライマリー

グロース

セカンダリー

来期PLに
影響



リスクマネー供給量増加に向けた
規制緩和への対応

プライマリー

グロース

セカンダリー



ニーズ掘り下げによる
投資家向けサービス拡張

プライマリー

グロース

セカンダリー



調達・投資データを活用した
発行会社向けサービス拡張

プライマリー

グロース

セカンダリー



ネットワーク効果による
業界内でのプレゼンス確立

プライマリー

グロース

セカンダリー

地方銀行・証券会社 連携先が累計37社に到達。案件ソーシング・投資家ネットワークの最大化を目指す。

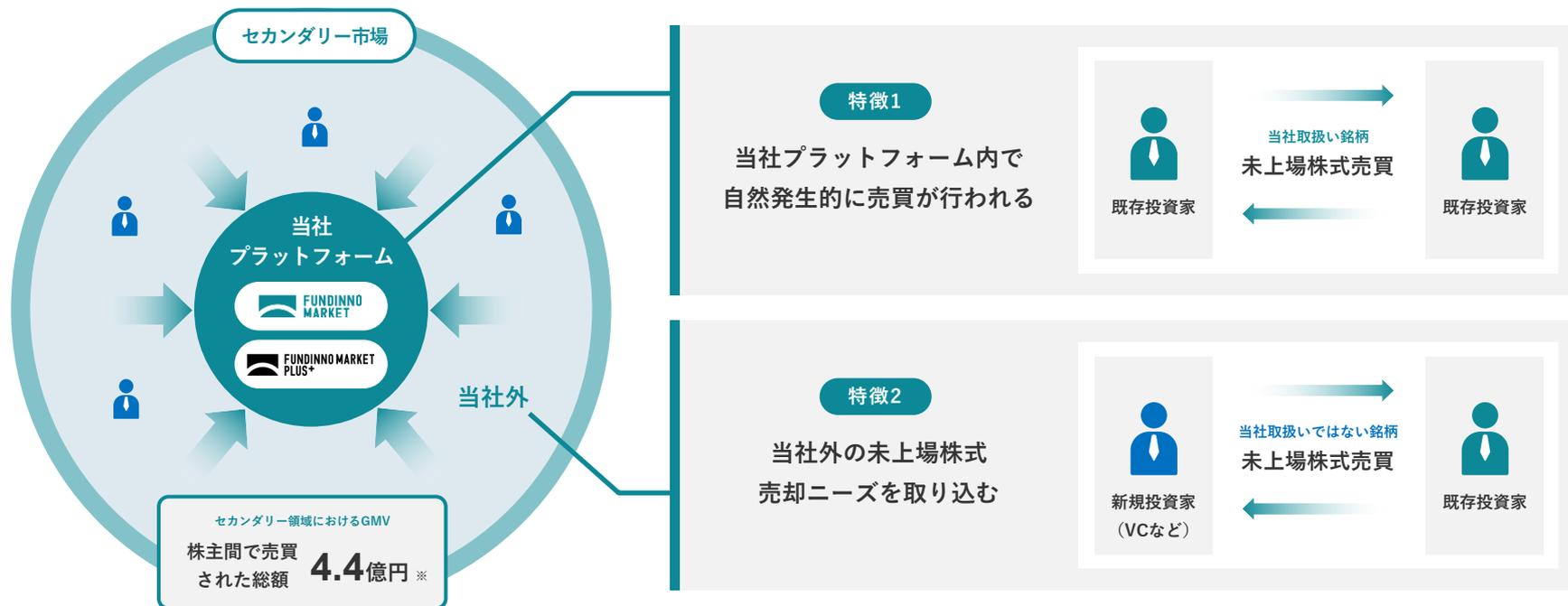
《《 FUNDINNOのみではアプローチしきれなかった”超富裕層”に対し、業界連携によりチャネルを拡大 《》



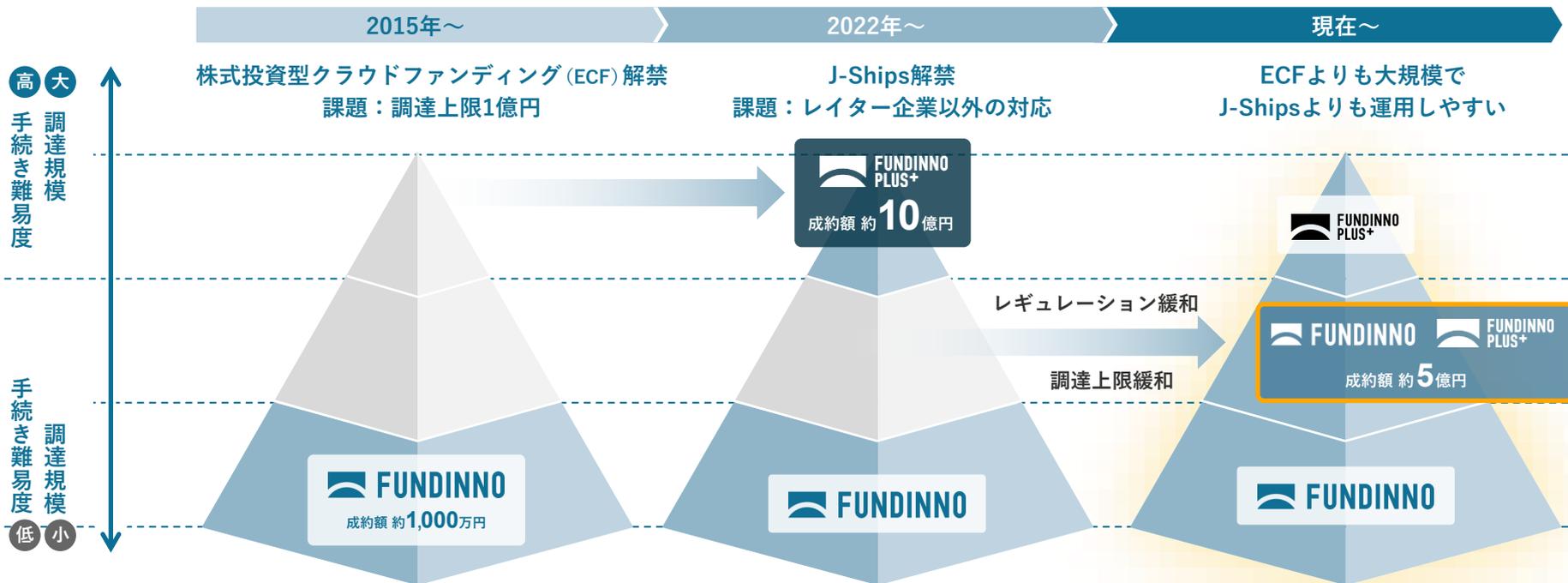
案件ソーシングの観点でも
地域に根ざした信頼を持つ地方銀行や証券会社との連携は有効

他金融企業様と競合しない未上場株式を扱うことで、地域に根ざした信頼を持つ地方銀行や証券会社との連携が可能になり
企業および投資家の相互紹介スキームを37社と構築

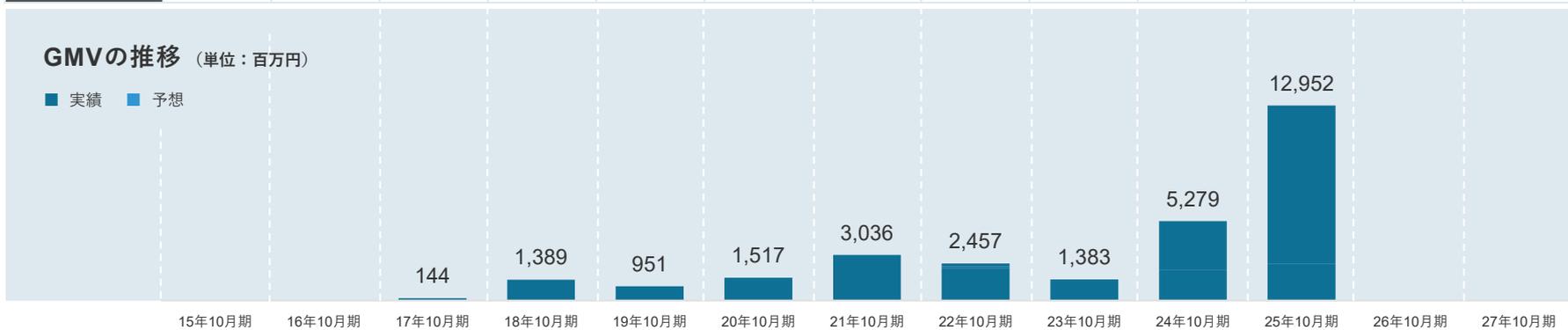
未上場株式の流動性促進のためには、セカンダリー強化が必須である。
当社外の未上場株式売却ニーズを取り込むことによる新規投資家の獲得、GMV拡大に繋げるべく体制を構築し、当2Qにおいて、大口セカンダリーの実現が見込まれる。



2025年2月、ECFの1案件あたりの調達上限額が5億円未満へ引き上げられる改正金商法が施工。
実務上のハードルである監査報告書提出義務も将来的に緩和される見通しのため、社内体制を強化。
「FUNDINNO」において、規制緩和への対応に今期注力。



規制緩和の情報を早期に把握しビジネスに繋げ、GMVが拡大。
 今後も規制緩和への対応を事業拡大と両軸で推進。



TOPICS

リリース日	カテゴリー	タイトル	詳細
2026年2月26日	FUNDINNO PLUS+	FUNDINNO PLUS+を活用した株式会社レクメドが東証グロース市場へ上場承認「J-Ships」による資金調達、企業の成長とExitを強力にバックアップ。	当社HP参照
2026年2月25日	業務連携	アリスタゴラ・アドバイザーズと業務連携 ～未上場企業の資金調達後に、国内外のネットワークを活かした出口戦略の実現を支援～	当社HP参照
2026年2月24日	FUNDINNO PLUS+	【日本初】J-Ships制度利用企業として初の上場事例が誕生。 FUNDINNO支援先のイノバセルが東証グロース市場へ新規上場	P4 当社HP参照
2026年1月26日	業務連携	GRCSと業務連携、未上場企業のガバナンス・コンプライアンス強化を支援 ～スタートアップの成長を「攻めと守り」の両面から支える経営基盤の構築へ～	当社HP参照
2026年1月6日	FUNDINNO	「FUNDINNO」において5億円未満の「大型案件」の取扱開始について ～2025年2月の改正金商法施行に伴い、市場拡大を背景としたGMVの飛躍的成長を目指す取り組み～	P27 当社HP参照
2026年1月5日	資本政策	資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金処分に関するお知らせ	P22 当社HP参照
2025年12月24日	新規事業	「ファンドを通じた投資」の実現へ ～「第二種金融商品取引業」および「投資運用業」の登録準備プロジェクトの推進を強化～	当社HP参照
2025年12月19日	事業連携	FUNDINNO×フィリップ証券 福岡証券取引所に既上場および上場準備企業への新たな資金調達方法の支援	当社HP参照
2025年12月16日	事業連携	GMV拡大に向けた、地方銀行・証券会社との連携を強化し、累計37社に到達。 ～案件ソーシングおよび投資家ネットワークの最大化を目指す～	P25 当社HP参照



01 ビジネスモデル

02 主要KPI

03 2026年10月期 第1四半期業績

04 成長戦略の進捗

05 **APPENDIX**

株主・投資家の皆さまに向けて タイムリー かつ 解りやすい 情報発信に努めております

IR note



決算情報や適時開示
の補足説明、
Monthly Reportなど
を掲載しております

IR X



適時開示、
各種IRイベント
などのご案内を
しております

IRスケジュール

2026/3/21
湘南投資勉強会

2026/4/10
岡三証券 個人投資家説明会

2026/6/12
2026年10月期 2Q決算発表

フェアに挑戦できる、未来を創る。

この国のベンチャーマーケットを、よりオープンに、民主的に。
すべての起業家と投資家にとっての、情報・機会の格差をなくし、
“フェアに挑戦できる、未来を創る。”こと、それが私たちのビジョンです。
起業家の挑戦に、多彩な選択肢を提供すること。
そして、投資家の応援を、起業家へと届けること。
志ある人々にとって開かれた未来へ、私たちは変革を続けます。

ビジョンを実現するために

証券、印刷、信託、取引所機能を全て実装した金融プラットフォームは、グローバルマーケットでも完成されていません。
当社は、新たな最先端金融プラットフォームを構築します。
構築したあかつきには、そのモデルをもって世界へ羽ばたきインストールをしていきたいと考えております。



将来見通しに関する注意事項本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。